

# 粉末冶金

第426号

4

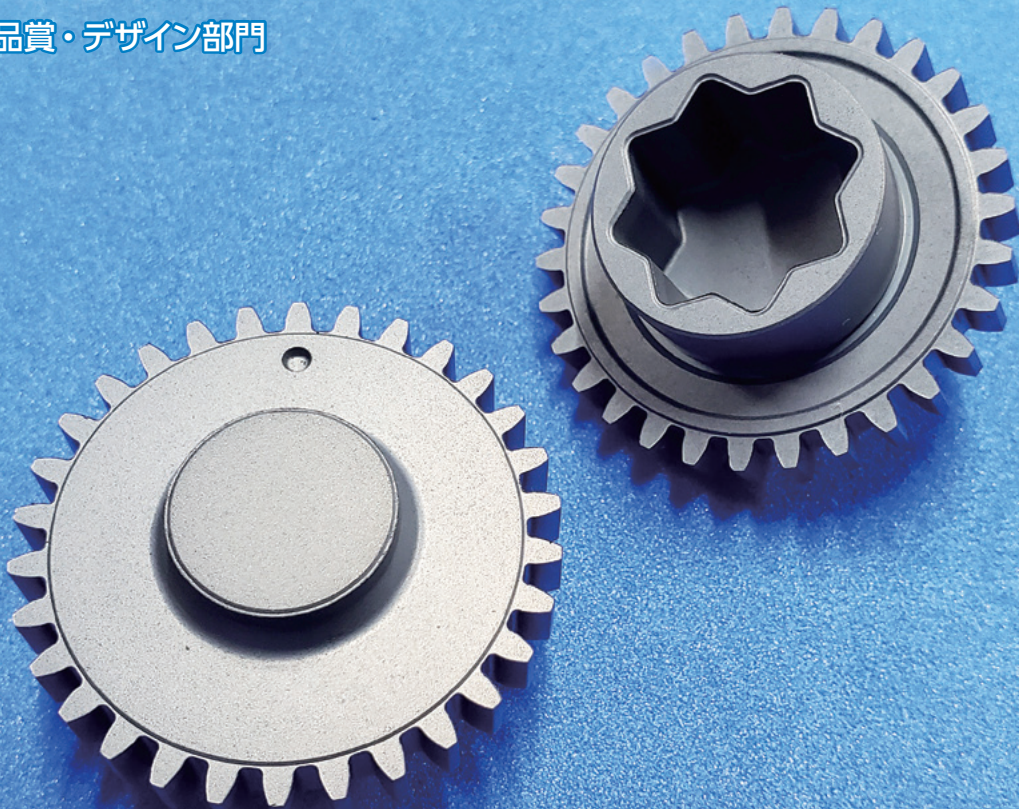


## JPMA NEWS

2026

*Make a better world with PM*

2025 年度工業会賞  
新製品賞・デザイン部門



高気密熱処理材を採用した EV 向け冷却モジュール用焼結平歯車  
株式会社ダイヤモンド

## 粉末冶金は材料科学のワンダーランド

私が粉末冶金と出会って今年で 38 年となります。川崎製鉄(現 JFE スチール)の研究所に配属されて以来、28 年間は鉄系粉末原料の研究開発に従事し、焼結部品業界の皆様および同業の原料粉末メーカーの皆様から、ときにはお叱りの言葉もいただきながら、製品の製造工程や品質管理について、多くのことを学ばせていただきました。その後、大学に職を得て、改めて学術的な視点から粉末冶金を捉え直す機会となりました。一昨年大学を退職し、現在は日本粉末冶金工業会の評議員および粉体粉末冶金協会の会長の立場から国内外の関係者と交流の中で、日本の粉末冶金分野を客観的に見る機会にも恵まれました。その中で、自動車の電動化をはじめとする地球規模の課題解決への動きの中で、粉末冶金の成長戦略が描きにくい時代であることが、業界の共通認識になっていると実感します。しかし、こうした時代こそ、未来に向けて粉末冶金の本質的な強みを改めて見つめ直す好機だと思えるのです。

川崎製鉄入社前は、大学理学部で当時の上司の言葉を借りれば、「重箱の隅をつつくような研究(液体合金中の原子配置の研究)」をしていました。ところが、粉末冶金の世界に足を踏み入れたとたん、希土類焼結磁石、ソフトフェライト、鉄系焼結機械部品と実用に向けた研究開発の場に放り込まれました。まるで“不思議の国のアリスがうさぎの穴に落ちこちた”ような、感覚を覚えました。

最初に与えられたテーマの一つが“錆びない希土類焼結磁石”の開発でした。原料粉末の磁場配向性の改善と液相焼結時の液相成分の耐食化が課題です。磁石組成のインゴットの溶解、機械粉碎による粉末化、数ミクロンの粉末は溶剤スラリーにして磁場中で成形、真空焼結というまさに粉末冶金プロセスそのものでした。実験設備での作業ながら、粉末で手を汚し、焼結体の研磨をし、顕微鏡を覗き、時には装置を故障させては、深夜まで先輩社員の皆さんに修理作業を助けていただいたこともありました。数ミクロンの粉末が成形や焼結の条件を変えることによって、魔法のように(実際は原理に基づいて)焼結体の組織と磁気特性が見事に変わる材料の不思議に完全に魅了されました。

やがて新素材ブームの終焉とともに、鉄系粉末冶金原料の製品開発に携わることとなります。それまでの磁性材料よりも粒径が一桁大きい鉄系粉末が対象となり、スラリーにしなくとも、粉末自体が流動することが驚きでした。数十ミクロンの粒子からなる粉末は、まるで流体の様に振る舞い、圧縮すると固体の様に動きを止めるのです。私のテーマは、鉄粉に比重の異なる黒鉛粉や銅粉を糊付けして偏析を防止したプレミックス粉を“水の様に流れる粉にすること”でした。そのためには、“粉体が液体の様に流れない原理”を見つけなければなりません。粉末粒子形状、粒度分布、粒子間の摩擦力や異種粉末間の付着力など、要素を分解し、支配因子を突き止める作業は、“うさぎの穴の中で出口を探す作業”の様でした。

うさぎ穴はアリスの夢の世界でしたが、38 年間の粉末冶金の旅も夢の様な時間でした。そして“うさぎの穴”にいる夢から覚めた今、改めて粉末冶金の本質的な強みを思うのです。粉末冶金では、どんな組成の粉末も混ぜることができる、望む形に固化できるのです。ここに可能性があるのです。粉末の組成を変えますか? 固め方を変えてみますか? それとも新しい加熱プロセスでしょうか? 幸い、私たちは AI という強力な道具も使える時代にいます。新たな“うさぎの穴”に自ら踏み込み、未知の組織と特性の探究に挑戦を始めませんか? 粉末冶金は、今もなお、材料科学のワンダーランドなのです。



評議員

尾崎 由紀子

元九州大学大学院工学研究院  
材料工学部門 教授大阪大学 接合科学研究所  
招へい教授

# DBX

SERIES – ATC EDITION

## Enabling Unmanned Production with Powder Compaction Technology

Automated Powder Compacting Machine  
Designed for Continuous Unmanned Operation,

- Fully Automatic Tool Change
- Semi-Automatic Powder Feeding
- Integrated Machine & Precision Die & Mold Technology.

Stabilize output.  
Strengthen competitiveness.



KOBAYASHI INDUSTRY CO., LTD.



## 告知板

## 入会

賛助会員 (4月1日)

[Jマテ. カッパープロダクツ株式会社](#)

## 退会

正 会 員 (3月31日) 日本ピストンリング株式会社

賛助会員 (3月31日) Jinzhou HUIREN New Material Technology Co. Ltd.

## 会籍変更

☆丸紅テツゲン株式会社 (4月1日)

新会社名：[丸紅テツゲンメタルズ株式会社](#)

## World PM2026 Montreal



6月25日からカナダのモントリオールで開催される2026年粉末冶金国際会議の[スケジュール](#)が公開されています。

なお、本国際会議は、隔年で北米、欧州、アジアの3地域持ち回りで開催されるもので、Covid-19の影響で中止となった2022年北米開催と同会場で開催します。

会議開催概要は次のとおり。

1. 会議名称：WorldPM2026/AMPM2026/Tungsten2026 conferences
2. 会 期：2026年6月25日(木)～29日(月)
3. 会 場：Palais des Congres de Montreal
4. 主 催：MPIF/APMI
5. 論文発表：4日間

口頭発表(テクニカルセッション)は、4つのカテゴリー(WorldPM(プレス焼結、MIM)、AMPM、タングステン、チタン)から253件、Special Interest Program23件、Leadership Issues Discussion4件、及びポスター発表33件、合計313件の発表があります。弊会会員(ダイヤモンド、住友電気工業、JFEスチール、旭化成)から4件発表が予定されています。

6. 展示会：26日 AM10:00 から 28日 PM14:30 まで（規模：134 小間を予定）

## 7. 主な会議スケジュール：

6/25(木)	12:00-13:45	昼食	6/28(日)	09:30-18:30	テクニカルセッション
12:00-18:00	会議登録		09:00-14:30	展示会 / ポスター掲示	
18:00-19:30	Welcome Reception		10:30-11:45	テクニカルセッション	
6/26(金)	08:00-10:00	Opening General Session & Global Trends	12:00-13:45	昼食	
10:00-17:00	展示会 / ポスター掲示		14:15-17:00	テクニカルセッション	
11:00-12:15	テクニカルセッション		18:00-21:00	Prime Time Event at Cirque Eloize	
12:30-14:30	昼食		6/29(月)	08:00-12:15	テクニカルセッション
13:45-17:00	テクニカルセッション		09:00-15:00	展示会	
14:30-15:45	三団体会議				
6/27(土)	09:00-18:30	展示会 / ポスター掲示			
10:30-11:45	テクニカルセッション				

8. 登録費：5月15日までの割引料金

非会員（一般）	\$ 2,175
非会員（発表者・座長）	\$ 2,075
MPIF/APMI 会員	\$ 1,975
MPIF 会員 / APMI 会員：発表者・座長	\$ 1,875

※論文集は、登録費に含まれます。

## APMA2027 Bangkok



11月10日～12日にタイ・バンコクで開催されるアジア粉末冶金国際会議の展示会出展募集を開始していますので是非出展をご検討ください。

なお、アジア粉末冶金連合（APMA）は2011年から隔年でアジア粉末冶金連合の加盟団体の持ち回りで開催しています。

1. 会議名称：The 8th International Conference on Powder Metallurgy in Asia
2. 会 期：2027年11月10日（水）～12日（金）
3. 会 場：ICONSIAM
4. 主 催：ThaiPMA
5. 展 示 会：11日 AM8：00 から 12日 PM17：00 まで（規模：82 小間を予定）

展示会に関する詳細（フロアプラン、料金、問合せ先）は、当会 [Website](#) に掲載しております。

## 6. 主な会議スケジュール：

11/10 (水)	18:00 – 19:00	Welcome Reception
11/11 (木)	08:00 – 17:00	会議、展示会
	18:30 – 21:30	Dinner Cruise
11/12 (金)	08:00 – 17:00	会議、展示会

## 「和文年報」 広告募集中

当会・業務委員会が発行する年報は、工業会の1年間の活動状況、統計資料をとりまとめたもので、ユーザー団体、教育機関を含め幅広く配布いたします。

本年報への掲載広告を募集しておりますので是非ご検討いただきますようお願いいたします。

- ◆ 発行部数：1,000 部
- ◆ 発行日（予定）：2026 年 7 月 15 日頃
- ◆ 問合せ：工業会事務局 ([info@jpma.gr.jp](mailto:info@jpma.gr.jp))

## ◇ご案内◇

工業会では粉末冶金関係の冊子を販売しております。

ご用命は、下記アドレスから申込書を入手のうえ、メールまたは FAX でお申し込みください。

[日本粉末冶金工業会出版物](#)

## ◇訂正とお詫び◇

1 月 1 日発刊の「粉末冶金」第 425 号 P6 の「粉末冶金技能検定（成形・再圧縮作業）2025 年度合格者発表」の集計に誤りがございました。下記の通り訂正するとともに、記載の漏れていた合格者を改めてご紹介いたします。

※ 2025 年度を含めた当会関係者の合格者数は、成形・再圧縮作業検定合格者 1,677 名、焼結検定合格者 862 名、合計 2,539 名。このうち 1 級合格者は 740 名、2 級合格者は 1,799 名。

### ■ 1 級技能士

(株)山田製作所

金子 篤史氏、川原 啓伸氏

### ■ 2 級技能士

(株)山田製作所

下荒磯 進氏、稲垣 拓人氏、諸田 将大氏、田中 順也氏、高麗 勘十郎氏

# Höganäs

## Driving positive change through material innovation

### 原材料のイノベーションにより、変革を促進する

ヘガネスは、金属粉の技術で持続可能な社会の実現を可能にする資源効率の高いソリューションとして、下記のような用途開発提案と技術支援を行っています。

- E-Axle 用減速機、トランスミッションギヤ、リングギヤ等高負荷焼結機械部品
- モータ、リアクトル、イグニッションコイル等用圧粉磁心
- 固体酸化物燃料電池 (SOFC) と固体酸化物形電解セル (SOEC) 用途粉末
- レーザークラディング、PTA、肉盛り等表面処理
- Cu-フリーオイルクーラー、熱交換器等高温ろう付け
- 3D プリンティング用粉末
- MIM 及び HIP
- 高機能セラミック粉末

### サステナビリティへ

2037 年までに直接排出量と間接排出量の両方の実質ゼロが目標です。

- 2030: 自社工程での排出実質ゼロ (Scope 1 および 2)
- 2030: 原材料を中心に Scope 3 の上流工程で 30% 削減
- 2037: バリューチェーン全体のネットゼロ (Scope 1、2、3 上流工程)



### 金属粉末は

### サステナビリティへのソリューションです



#### 金属粉末技術は…

- …リサイクル原料を使用
- …無駄を最小限に抑える
- …エネルギーや労働力などのリソースをより効率的に使用
- …最終製品のリサイクルを簡素化
- …製品ライフサイクルを延長

ヘガネス ジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 4 号

TOKYO TORCH 常盤橋タワー 915 区

電話 : 03-5931-0000(代表) FAX : 03-5931-1000 e-mail : [japan@hoganas.com](mailto:japan@hoganas.com)

## 会議スケジュール

### 理事会・定時総会

5月22日 機械振興会館

### 常任理事会

4月18日 工業会会議室

7月16日 工業会会議室

### 常設委員会・部会

#### 業務委員会

6月4日 工業会会議室

### 総務部会

5月12日 工業会会議室

6月4日 工業会会議室

### 広報部会

6月4日 工業会会議室

### 焼結機械部品技術委員会

6月16日 工業会会議室

### 軸受部会

5月21日 工業会会議室

### プレス技術委員会

6月19日 工業会会議室

### 射出成形粉末冶金委員会

5月11日 工業会会議室

### 国際規格委員会

6月18日 Hybrid 会議

### 環境委員会

8月28日 工業会会議室

## 工業会賞受賞記念特別セッション

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

（一社）粉体粉末冶金協会のご協力を得て、1996年の「春季大会」から工業会賞受賞記念特別セッションを設け、受賞内容の紹介を行っています。

本セッションは、ユーザーの皆様には粉末冶金利用の参考に、研究者の皆様には今後の研究開発の参考にさせていただくことを目的としています。多数ご参加いただきますようお願いいたします。

①日時：2026年5月26日（火）

14：40～16：00

②会場：大阪大学コンベンションセンター

（吹田キャンパス内）

③申込方法：

会 員：各社連絡担当者へお配りしている開催案内をご参照のうえ、当会あてに申し込みください。

非会員：工業会賞特別セッションのみ聴講の場合は、工業会 Website

（[新着情報](#)—【[工業会賞受賞記念特別セッション](#)】）から申し込みください。

※春季大会のセッションを聴講される場合は、

（一社）粉体粉末冶金協会 Website (<https://www.jspm.or.jp/>)にて参加登録（有料）が必要になります。

④参加費用：工業会賞特別セッションのみの聴講は無料。

⑤参加申込締切：2026年5月13日（水）

⑥プログラム

▽高気密熱処理材を採用したEV向け冷却モジュール用焼結平歯車

株式会社ダイヤモンド 土屋 澄人氏



【2025年 工業会賞特別セッション（京都大学）】

▽モータの高性能化に貢献する薄肉・高絶縁耐圧塗装付き圧粉磁心の開発

住友電気工業株式会社 栄田 壮亮 氏

▽焼結接合キャリア省人化ラインの開発

住友電気工業株式会社 谷川 隆允 氏

▽高強度焼結材の製造を実現する Ni フリー低合金鋼粉

JFE スチール株式会社 高下 拓也 氏

▽カーエアコン用コンプレッサー容量制御弁 (ECV) ガイドブッシュの焼結化

ポーライト株式会社 及川 夏澄 氏

## 2026 年度 工業会賞募集

対象：会員限定

2026 年度日本粉末冶金工業会賞の募集を開始しました。詳細は、4 月 15 日付当会発第 001 号募集案内をご参照ください。応募期限は 6 月 10 日（水）です。

本賞は、粉末冶金の技術向上と需要家への普及拡大を図ることを目的に 1979 年度に創設されたもので、今年度で 48 回目を迎えます。

受賞製品は当会 Website に掲載するほか、国内外の専門誌、新聞にも掲載し、全世界に幅広く紹介いたします。

また、翌年の粉体粉末冶金協会春季大会では「工業会賞受賞記念特別セッション」として、ユーザー、研究者へ直接技術紹介も行います。

昨年度は、工業会賞（奨励賞含む）に 5 件が受賞しました。業界発展、自社製品 PR となりますので、是非ご応募ください。

募集対象は次のとおりです。

### \* 新製品賞（デザイン、材質、製法開発部門）

機械部品、軸受合金、摩擦材料、電気接点、集電材料、MIM 部品など、会費算定対象の製品が対象です。

### \* 原料賞

粉末冶金用原料粉、潤滑剤等が対象です。

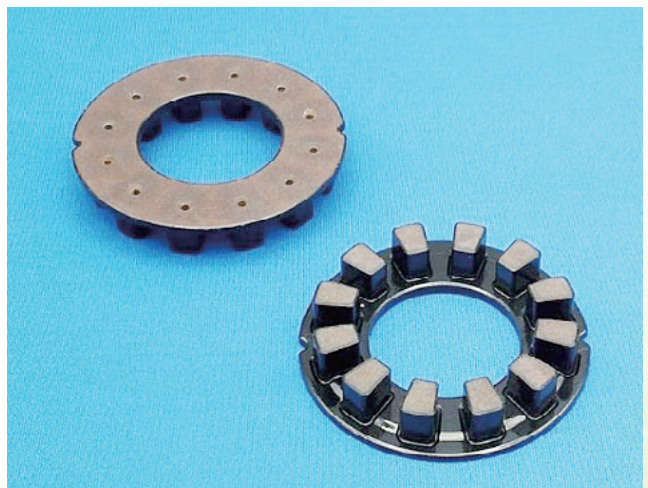
### \* 設備開発賞

粉末冶金用プレス、焼結炉等設備が対象です。

### 【応募に関する注意事項】

今年度から下記応募ルールが変更となりました。

- ・工業会開始時期：5 年→撤廃
- ・ユーザー評価：記載欄追加



【2025 年度 新製品賞・製法開発部門 受賞製品】  
モータの高性能化に貢献する  
薄肉・高絶縁耐圧塗装付き圧粉磁心の開発  
住友電気工業株式会社

## 第 14 回 人材育成セミナー

対象：会員限定

本セミナーは、広報部会主催で 2013 年から開催しており、粉末冶金業界に関わる人材の育成を目的としています。初めにテーマに関する基礎知識を学んでいただいた後、グループに分かれて共同作業を行う参加型のセミナーです。毎回参加メンバーによる自由闊達なディスカッションが行われ、一日を通して学びを深めていただきます。

これまでに開催されたテーマは、「機能分析法」、「VE 技術の活用による機能分析」、「創造性開発」、「粉末冶金技術の市場拡大」、などがあり、事後のアンケートは満足度 90%以上の高い評価をいただいております。

本年度は、「現場作業の現状分析」をテーマとして演習を行います。事務系・技術系を問わず受講いただけますので、ぜひ奮ってご参加ください。



【2025 年セミナー グループ演習の様子】

### 《5 月に正式なご案内をいたします。》

- ①日 時：2026 年 7 月 17 日 (金) 10:00～18:30
- ②場 所：機械振興会館 (東京都港区芝公園 3-5-8)
- ③講 師：株式会社 RK コンサルティング  
代表取締役 丹澤一昭 氏
- ④募集対象：若手～中堅社員 (入社 3 年～) 約 30 名
- ⑤参 加 費 (会員特別料金、昼食込み) お一人につき  
：12,000 円 (セミナー受講・懇親会費込み)  
：8,000 円 (セミナー受講のみ)

- ⑥テーマ：「現場作業の現状分析」
  - 工程分析・稼働分析、動作研究・時間研究の技術を学ぶ
  - 事例研究で現状分析手法を習得する

## 高温熱処理用メッシュベルト

熱処理製品の作業に欠かせないメッシュベルト、太陽金網がお客様のご要望に応じた規格を選定させていただきます。

### メッシュベルト織り方各種

- ・RTK-B: 汎用タイプ
- ・RTK-DB: 高強度タイプ
- ・RTK-G: 小物部品向け
- ・RTK-RR: 高温時作業用
- ・RTK-H: 滑らかな表面

特殊材料 TAILOY® シリーズ (TAILOY®-1: 焼入れ用 TAILOY®-3: 銅ロー付用、TAILOY®-5: 焼結用) など取り揃えております。



**TWC** 太陽金網株式会社  
http://www.twc-net.co.jp

本社 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-11-7  
TEL:06-6261-0851 FAX:06-6261-2446  
名古屋営業所 TEL:052-323-1851 FAX:052-323-0101  
東北営業所 TEL:022-371-0851 FAX:022-371-0852

東京営業所 〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-9  
TEL:03-3493-7851 FAX:03-3493-7115  
湘南営業所 TEL:0463-20-5871 FAX:0463-20-5872  
九州営業所 TEL:092-929-4031 FAX:092-929-4025

## 委員会の動き

## 常任理事会

2月18日 工業会会議室

- (1) 会長及び関連委員長ローテーションの審議。
- (2) 2026-2027 年度役員等の選任の審議。
- (3) 70 周年記念祝賀会 兼 賀詞交歓会振返り。
- (4) 粉末冶金交流会の確認。
- (5) 定時総会段取りの確認。
- (6) 2026 年度工業会運営方針の審議。
- (7) 政府施策（経産省関連）の確認。
- (8) 工業会主要行事日程の確認。

## 常設委員会・部会

## 業務委員会

2月3日 工業会会議室

- (1) 会長・役員及び関連委員長専任の審議。
- (2) 70 周年記念祝賀会 兼 賀詞交歓会振返り。
- (3) 粉末冶金交流会の審議。
- (4) 業務委員会活動計画の確認。
- (5) 定時総会段取りの確認。
- (6) 業務委員会見学会の実施内容の審議。
- (7) 焼結部品概要更新の審議。
- (8) 経産省・素材材センターからの情報展開。
- (9) 工業会主要行事日程の確認。

3月23日 工業会会議室

- (1) 2025 年度収支、2026 年度事業計画・予算の審議。
- (2) 2026-2027 年度役員等の選任の審議。
- (3) 工業会賞選考委員会委員長等委嘱の審議。
- (4) 工業会賞発表会（特別セッション）段取りの確認。
- (5) 工業会賞募集要領の審議。
- (6) 定時総会段取りの確認。
- (7) 業務委員会見学会等の審議。
- (8) 秋季総会等開催方針の審議。
- (9) 焼結部品概要更新の審議。
- (10) 経産省・素材材センター関連の依頼確認。

## 総務部会

2月3日 工業会会議室

- (1) 会長・役員及び関連委員長専任の審議。

- (2) 粉末冶金交流会の審議。
- (3) 総務部会活動計画の確認。
- (4) 2026 年度工業会運営方針の審議。
- (5) 焼結機械部品概要更新の審議。
- (6) 業務委員会見学会の実施内容の審議。
- (7) 定時総会段取りの確認。

3月23日 工業会会議室

- (1) 2026～2027 年度役員等の選任案の審議。
- (2) 各委員会委員長、工業会賞選考委員会委員構成の審議。
- (3) 2026 年度工業会運営方針の審議。
- (4) 2025 年度収支・2026 年度予算の審議。
- (5) 定時総会段取りの確認。
- (6) 業務委員会見学会、有志ゴルフ実施の審議。
- (7) 秋季総会・JPMA 有志ゴルフ大会実施方針の審議。
- (8) 常任理事会・歓迎迎会実施方針の審議。
- (9) 焼結部品概要改定の審議。
- (10) WorldPM・APMA 理事会の確認。

## 広報部会

2月3日 工業会会議室

- (1) 70 周年記念祝賀会 兼 賀詞交歓会振返り。
- (2) 2026 年度部会活動計画の確認。
- (3) 工業会主要行事日程の確認。
- (4) APMA2029 の審議。

3月23日 工業会会議室

- (1) 人材育成セミナー開催テーマの審議。
- (2) 工業会賞発表会（特別セッション）段取りの確認と審議。
- (3) 工業会賞募集要領の審議。
- (4) ホームページアクセス件数の確認。
- (5) ホームページ英語表記の審議。

## 焼結機械部品技術委員会

3月18日 Hybrid 会議

- (1) 表面粗さ測定方法標準化の調査報告書の最終確認及び今後の活動方針を決定。
- (2) 「焼結機械構造部品用焼結材料の特性」改正構想案について意見交換を実施。
- (3) 「JIS Z 2550 焼結材料 - 仕様」改正案の最

終確認を実施。

- (4) 焼結部品概要改正の執筆協力の確認。

### 軸受部会

2月20日 工業会会議室

- (1) 軸受内径測定標準化に関する調査及び意見交換。
- (2) JIS Z 2507 焼結軸受の圧環強さ試験方法改訂について意見交換を実施。
- (3) 焼結部品概要軸受に関する記載内容の確認及び改訂の方向性について意見交換を実施。

### プレス技術委員会

3月19日 工業会会議室

- (1) トラブル事例について製品メーカーから紹介。
- (2) プレス機の構造や機能紹介。
- (3) 新規PJ活動「こんなことできないか」とりまとめ最終確認を実施。
- (4) 次年度活動計画の決定。

### 原料粉末技術委員会

1月22日 Hybrid 会議

- (1) ISO 投票結果報告及び投票方針決定。
- (2) 次年度活動計画の確認。
- (3) リサイクルに関する情報紹介。  
「銅箔製品（電解銅箔）の原料リサイクル材率の認証取得」
- (4) 情報紹介  
「環境負荷低減への取り組み」  
「CN 達成に向けた取り組み紹介と困りごと」

### 射出成形粉末冶金委員会

2月19日 工業会会議室

- (1) BJT に関する情報紹介
- (2) MIM 紙上調査内容の確認。
- (3) CO<sub>2</sub> 排出量調査内容の決定。
- (4) MIM 講習会 - 中級編の講演内容の最終確認。

- (5) 焼結部品概要 MIM 掲載内容の確認及び改訂方針を決定。

### マーケティング委員会

2月6日 工業会会議室

- (1) 調査報告書資料のまとめ。
- (2) 次年度活動計画の確認。
- (3) マーケティング委員会の活動について審議。

### 国際規格委員会

3月12日 工業会会議室

- (1) 2026年 ISO 会議出席者決定。
- (2) ISO 投票、活動状況報告及び意見交換を実施。
- (3) MPIF 規格関連規格確認。
- (4) Website「粉末冶金材料」改訂について意見交換を実施。

### 環境委員会

3月9日 工業会会議室

- (1) 環境自主行動計画フォローアップ調査委内容の決定。
- (2) 環境に関する情報（再生エネルギー、環境活動）紹介。
- (3) 労働安全衛生、災害対策啓発に関する情報紹介及び意見交換。

### その他委員会

委員長連絡会

2月5日 工業会会議室

- (1) 常設 11 委員会・部会の委員長・部長から 2025 年度活動報告、2026 年度活動計画及び予算要求を説明、意見交換。
- (2) 2026 年度工業会主要行事日程を報告。
- (3) 焼結部品概要改訂について関係委員会協力を確認。

## 第 2 回 MIM 講習会 - 中級編

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

当会・射出成形粉末冶金委員会（以下、MIM 委員会）は、金属射出成形（以下、MIM）の若手育成、啓蒙、業界活性化として第 2 回目となる MIM 講習会 - 中級編を 2026 年 3 月 6 日（金）機械振興会館で開催いたしました。本講習会は会員・非会員問わず広く参加を募集し、20 社・2 研究機関・1 大学 49 名（内非会員は 4 社 6 名、研究機関・学生 5 名 講演者、関係者含まず）と多数の方に聴講いただきました。

当日は MIM 委員会委員の土井研児氏（大阪冶金興業株式会社）が司会を担当し、冒頭 MIM 委員会委員長である寺田洋文氏（浜松メタルワークス株式会社）の挨拶が行われ、下記講演をいただきました。



① MIM の概要

浜松メタルワークス株式会社 寺田 洋文 氏

②原料粉末

大同特殊鋼株式会社 安田 泰士 氏

③バイнда

東京都立大学 長田 稔子 氏

④混練・造粒

日本ピストンリング株式会社 木村 正宏 氏

⑤射出成形

岩機ダイカスト工業株式会社 日下 隆章 氏

⑥脱脂、焼結、後加工、検査、不適合事例

東京都立大学 長田 稔子 氏

各講演とも活発な質疑応答が行われ終了後、交流の場として懇親会を開催しました。今後も MIM 委員会は業界発展のため各種活動を継続していきます。

尚、来年度は MIM 講習会 - 初級編の開催を予定しております。

## 第 21 回粉末冶金交流会

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

2025 年度粉末冶金交流会を 3 月 13 日（金）、機械振興会館で開催いたしました。

参加者は、会員 22 社 49 名、非会員 4 社 6 名、関係者を含め 66 名と多数の皆様にご聴講いただきました。本交流会は会社規模の大小にかかわらず、各社の交流を通して研鑽を図ること、また、当会会員を増やすことで粉末冶金工業の発展をより力強いものにするとの趣旨で 2004 年度から開催しています。

講演会は下記 4 件の講演、ならびに新規に入会された 1 社の事業概要を紹介していただきました。

◎自動車市場動向

「2035 年世界自動車産業の展望」



S&P Global Mobility ディレクター  
西本 真敏 氏



◎招待講演 (1)

「産業技術総合研究所の活動紹介  
—中部センターの材料研究を中心として—



国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
中部センター招聘研究員  
中部連携戦略チーム長 尾崎 公洋 氏

◎招待講演 (2)

「産学共創研究による  
自動車の潤滑材料技術への貢献」



トヨタ自動車東日本株式会社  
総務部 兼 モビリティ要素開発部 担当 小池 亮 氏  
東北大学「環境融和ものづくり共創研究所」  
特任教授 小池 亮 氏

◎招待講演 (3)

「リペア・リマニュファクチャリングによる  
サーキュラーエコノミーへの貢献」



光栄テクノシステム株式会社  
取締役社長 徳本 啓 氏

◎新規入会会社

「事業紹介」



平和産業株式会社  
開発部 部長 遠藤 広樹 氏

冒頭に橋本業務委員長（ポーライト株式会社）から、「本日は、粉末冶金の主要な需要先である「自動車市場の動向」に加えて、産官学の取組やサーキュラーエコノミーに関連するご講演をありがとうございます。当業界を取り巻く環境や取り組みについてご理解を深めていただければ幸いです。」と挨拶が行われました。

講演後の懇親会は、業界内外の人的交流を図ることが一つの目的です。講演者、非会員の方々にもご参加いただき、意見交換を行ったほか、参加者の同士の懇親を深めることができました。

懇親会の中締めは、増本広報部会長（福田金属箔粉工業株式会社）が音頭をとり、「将来の粉末冶金業界を盛り上げていきましょう。」と挨拶がなされ、懇親会の締めくくりをされました。

当会では、各委員会が電動化、カーボンニュートラルをはじめ当業界に関連するテーマを設定し、情報の調査・共有及び協業活動などの取組を推進しています。将来の市場創出に向け、工業会を有効にご活用いただければと存じます。



会場の様子

## 2025 年粉末冶金製品生産

経済産業省統計による 2025 年暦年（1～12 月）の粉末冶金生産実績がまとまりました。

品目別生産実績を表 1、需要業種別生産量を表 2 に示します。

全体では、重量が 65,163 トン（前年比▲ 1.2%）、金額が 1,463 億円（同+ 0.8%）となりました。このうち、機械部品は、重量が 59,275 トン（前年比▲ 1.2%）、金額が 989 億円（同+ 0.7%）。軸受合金は、重量が 3,964 トン（前年比▲ 0.3%）、金額は 159 億円（同+ 1.2%）となりました。

主要な需要先である自動車産業における国内自動車生産台数（日本自動車工業会）は、前年比+ 2.1%増の 841 万台、国内販売は、前年比 3.3%増の 456 万台と国内生産・販売とも増加に転じました。

主力の輸送機械用機械部品については、重量が 55,774 トン（前年比▲ 1.3%）で機械部品に占める構成比は 94.1%と前年より 0.1 ポイント減少しました。輸送機械用軸受合金は、重量が 2,862 トン（同+ 0.1%）で、輸送機械向けについては、自動車の生産はやや増えたものの、機械部品、軸受合金の生産重量は前年並みに留まりました。

表 1 粉末冶金製品の品目別生産実績表

品目	重量 (t)	前年比 (%)	金額 (百万円)	前年比 (%)
軸受合金	3,964	99.7	15,989	101.2
機械部品	59,275	98.8	98,938	100.7
摩擦材料	689	90.4	8,853	98.7
電気接点	62	117.8	2,503	116.5
その他	1,173	98.8	20,087	100.4
合計	65,163	98.8%	146,371	100.8%

表 2 軸受合金、機械部品の需要業種別生産量

品目	需要業種	重量 (t)	前年比 (%)	構成比 (%)
軸受合金	輸送機械用	2,862	100.1	72.2%
	その他用	1,102	98.5	27.8%
	計	3,964	99.7	100.0%
機械部品	輸送機械用	55,774	98.7	94.1%
	その他用	3,501	100.0	5.9%
	計	59,275	98.8	100.0%

## 工業会統計

年 月	粉末冶金製品生産金額 (百万円)							原料粉出荷量 (トン)	
	軸受合金	機械部品	摩擦材料	電気接点	集電材料	その他	合計	鉄粉	銅粉
2020 年度	1,179	7,854	432	1	133	334	9,934	7,107	326
2021 年	1,415	8,904	635	3	132	453	11,543	8,070	374
2022 年	1,252	8,247	676	2	149	453	10,779	7,193	302
2023 年	1,342	8,553	617	2	140	449	11,103	6,346	289
2024 年	1,285	8,027	749	3	196	468	10,729	6,069	284
前年度比%	96	94	121	160	140	104	97	96	98
2025 年 2月	1,185	7,870	760	1	204	503	10,522	5,822	245
3月	1,264	8,615	781	6	181	491	11,338	6,006	317
4月	1,265	7,662	734	1	210	493	10,365	5,318	239
5月	1,165	7,676	749	1	188	444	10,224	6,045	205
6月	1,372	8,320	775	0	182	509	11,159	7,170	237
7月	1,557	9,096	806	0	202	523	12,184	6,440	267
8月	1,262	6,652	605	4	180	380	9,084	4,599	204
9月	1,546	8,700	739	3	208	527	11,722	5,864	238
10月	1,452	8,967	763	0	234	545	11,961	6,549	234
11月	1,337	7,841	667	6	194	524	10,570	6,227	243
12月	1,366	8,049	736	0	236	521	10,908	5,099	216
2026 年 1月	1,286	7,803	740	3	215	508	10,554	6,063	214
2月	1,323	8,191	706	1	239	513	10,972	6,162	229
前年同月比%	112	103	93	96	117	105	104	106	122

(注 1) 「その他」は磁性材料硬質も含む。

(注 2) 生産金額は消費税を含む。

(注 3) 前年比・前年同月比は同一企業数で計算。

(注 4) 前年度比、前年同月比は消費税抜き金額で比較。

第42回

# 素形材 産業技術賞

募集のご案内

応募締切

令和8年

**5月15日(金)**

表彰式：令和8年11月6日(金)

募集対象とする素形材産業技術とは

- 鋳造、ダイカスト、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金、型、金属熱処理に関する技術
- 鋳造機械、鍛圧機械、工業炉に関する技術
- 素形材及びその製造に密接な関連がある加工技術（Additive Manufacturing、複合加工、レーザー応用等）、材料技術
- 素形材に関連したソフトウェア技術（IoT や AI 等の活用も含む）等

11月は、「素形材月間」です。

※令和6年度より「素形材産業経営賞」の新設をしています。

“素形材表彰”で検索

素形材表彰



ご応募・  
問い合わせ先

一般財団法人素形材センター業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館)

電話: 03-3434-3907 FAX: 03-3434-3698 E-mail: gyoumu@sokeizai.or.jp

# 第3回 素形材産業 経営賞

## 募集のご案内

応募締切

令和8年 **6月5日(金)**

表彰式：令和8年11月6日(金)

### 募集対象とする素形材企業とは

- ▶ 鋳造、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金等によって素材に形状を付与した素形材を製造する企業
- ▶ 上記と密接な関連を持つ鋳造機械、鍛圧機械、金型、木型、工業炉、熱処理の事業を営む企業

11月は、「**素形材月間**」です。

※令和6年度より「素形材産業経営賞」の新設をしています。

“素形材表彰”で検索

素形材表彰



「第42回素形材産業技術賞」も同時募集中!

ご応募・  
問い合わせ先

一般財団法人素形材センター業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 (機械振興会館)

電話：03-3434-3907 FAX：03-3434-3698 E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp